



RIPAを超える次世代の溶解バッファー

UltraRIPA Buffer

RIPA Bufferよりタンパク質の可溶化力が高い

膜タンパク質の可溶化力

2% SDS > **UltraRIPA** > RIPA > 1% Triton X-100

RIPA Bufferと同等のマイルドな変性作用

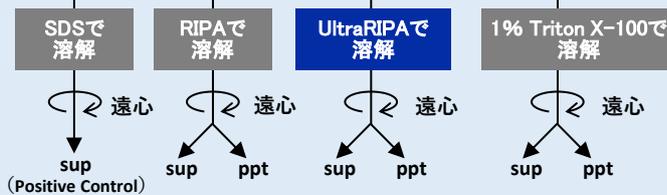
タンパク質変性作用

2% SDS >>> **UltraRIPA** ≒ RIPA ≒ 1% Triton X-100

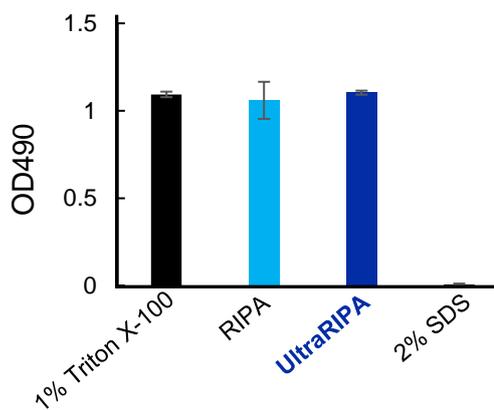
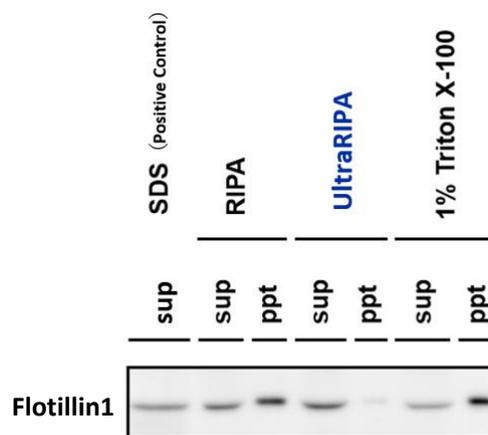


強力な膜タンパク質可溶化能

培地を除去し、PBSで洗淨した培養細胞



PBSで洗淨したCOS-1細胞を各バッファーで溶解した。遠心分離後、不溶性画分はSDS-PAGEサンプルバッファーで変性溶解した。脂質ラフトマーカ-のひとつであるFlotillin1が溶解した量をSDS-PAGE/ウエスタンブロットで評価した。1% Triton X-100やRIPAバッファーでは不溶性膜画分に大部分が留まったのに対して、UltraRIPAではほぼ全量の溶解を確認できた。



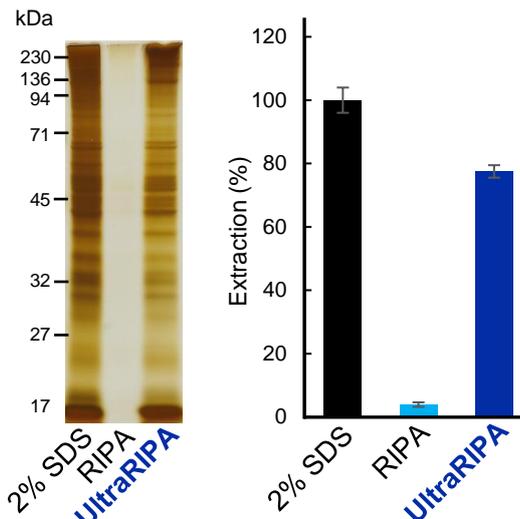
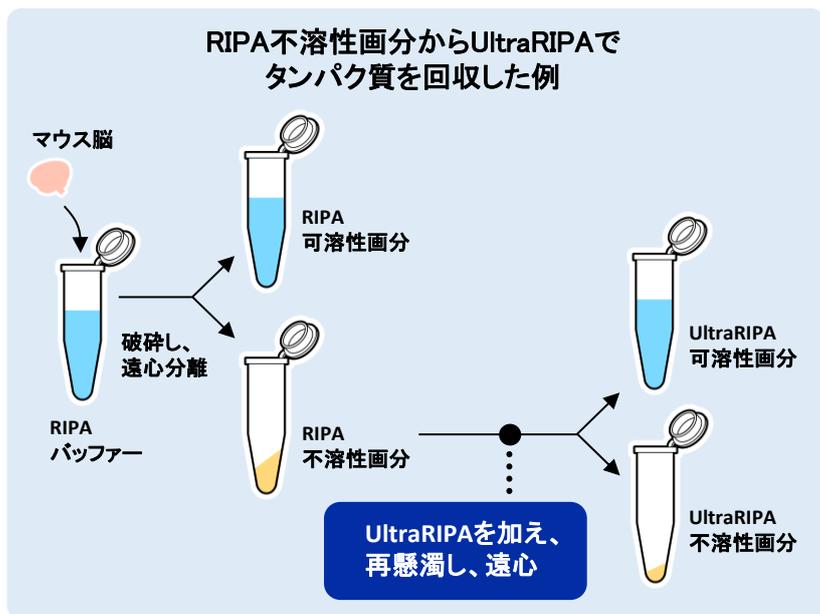
抽出タンパク質の酵素活性の測定が可能

- タンパク質を非変性条件で抽出できる
- 酵素活性や免疫沈降などの実験にも使用可能

CHO細胞から各バッファーで抽出した上清中の乳酸デヒドロゲナーゼ(LDH)の酵素活性を測定した。UltraRIPAで抽出した上清中のLDHは、1% Triton X-100やRIPAバッファーと同等の活性を保持していた。

RIPAバッファーで溶解できなかったタンパク質がUltraRIPAでは溶解できる

- RIPAバッファーより膜タンパク質の抽出効率が向上



RIPAバッファー不溶性画分から70%以上のタンパク質を抽出

RIPAバッファーに添加したマウス全脳から回収した不溶性画分を各バッファーに加え、再抽出した。遠心後に得られた上清について、銀染色(左)およびBCAアッセイ(右)によりタンパク質量を比較した。UltraRIPAは、RIPA不溶性画分から70%以上のタンパク質を抽出できた。

BioDynamics Laboratory Inc. [メーカー略称: BDL]

品名	商品コード	包装	価格
UltraRIPA Buffer	F015B	100 ml	¥ 22,000

RIPA Buffer

バッファー組成

50 mM Tris-HCl (pH8.0), 150 mM NaCl, 1% NP-40 alternative, 0.1% SDS, 0.5% Sodium Deoxycholate

BioDynamics Laboratory Inc. [メーカー略称: BDL]

品名	商品コード	包装	価格
RIPA Buffer	F015A-100	100 ml	¥ 10,000
	F015A-250	250 ml	¥ 20,000



NOTE

- ※ 本紙に掲載されている価格は2025年11月1日現在です。
- ※ 本紙に掲載されている製品はすべて研究用です。医薬品、診断用医薬品、食品、食品検査等の用途には使用できません。
- ※ 仕様は改善のため、予告なく変更することがあります。
- ※ 記載されている会社及び商品名は、BioDynamics Laboratory社の商標または登録商標です。
- ※ 表示価格には消費税等は含まれていません。また価格は予告なく変更される場合がありますので、あらかじめご了承下さい。
- ※ ご注文の際は、【品名、メーカー(BDL)、商品コード、包装、数量】をお知らせ下さい。

販売店

総代理店
フナコシ株式会社

〒113-0033 東京都文京区本郷2丁目9番7号
www.funakoshi.co.jp

info@funakoshi.co.jp

試薬に関して: reagent@funakoshi.co.jp

TEL 03-5684-1620

funakoshi



@Funakoshi_CoLtd



フナコシ株式会社

BDL-2511-F05(2025.11)